

特別国民体育大会(鹿児島) スポーツクライミング競技 東京都国体候補選手 選考要項

成年男子、成年女子、少年男子、少年女子の各種別 4名の合計 16名の国体候補選手を下記により選考する。

1. 国民体育大会参加資格

日本スポーツ協会（以下、JSPO）の定める国体参加資格の規定に準ずる。

（注意点）第 76 回または第 77 回大会（都道府県予選大会及びブロック大会を含む）において、選手・監督として出場したものは、異なる都道府県から参加できません。

参考）JSPO の規定 ⇒ <https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid191.html>

2. 国体候補選手の選考

国体候補選手の選考大会は、該当年度の「スポーツクライミング東京選手権大会」(以下、東京選手権)とする。

- ・国体候補の選考希望者は、東京選手権**リード・ボルダリングの 2 種目に出場**しなくてはならない。
- ・[JMSCA 選手登録](#)を東京選手権の申込締切日までに行うこと。※所属は東京都山岳連盟としてください
- ・「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」に従い、特例の対象となる選手が国体候補となる資格を有する。
- ・「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」など該当者においても、国体候補の選考希望者は東京選手権の申込締切日までに申請すること。
- ・国体候補選手は、1年間を通じて都岳連の活動（練習会・合宿・大会など）に参加可能な者に限る。

3. 選考方法**(1) 順位得点**

国体候補の選考対象選手に対して、リード及びボルダリングの順位をもとに以下の「順位得点」が与えられる。

例)

1 位	2 位	3 位	3 位	5 位	6 位	...
1 点	2 点	3.5 点	3.5 点	5 点	6 点	...

※ 1 順位得点は国体候補の選考対象選手のみに与えるものとする。

※ 2 順位得点は東京選手権のリード及びボルダリングの順位により算出する。

※ 3 種目順位においてタイ順位となった場合は、そのタイ順位内の人数で按分する。

（例） 3 位が 2 名の場合は 3 位が 3.5 点となり 4 位は不在となる。

(2) 選考方法

- ① リード及びボルダリングの順位得点に基づき下記の式から算出された総合得点の少ない者を上位とする。

$$TP=LP \times BP$$

TP：総合得点

LP：リード順位得点

BP：ボルダリング順位得点

- ② ①の得点が等しい選手が複数いる場合は、より上位の順位得点を有する者を上位とする。
- ③ ②適応後、なお同順位の選手がいる場合、予選の総合得点へのカウントバックを行う。
- ④ カウントバック適用後、なお同順位の選手がいる場合、予選のより上位の順位得点を有する者とする。
- ⑤ ④適応後、なお同順位の選手がいる場合、直近に行われた主に IFSC 及び JMSCA が主催する大会（少年男子、少年女子においてはユース大会を含む）における成績を参考に（公社）東京都山岳連盟 SC 局が選考する。

4. 国体候補選手の決定

選考結果に基づき、国体候補選手を東京都山岳連盟が決定する。国体代表選手は国体候補選手から各種別上位 2 名を選出する。

5. 申請手続き

- ・Web 上で申請手続きを行うこと
- ・JMSCA 選手登録証(有効期限 2024 年 3 月 31 日のもの)・・・印刷の上、郵送すること
- ・参加資格確認書・・・選手本人で直筆記入の上、原紙を郵送すること

・原紙郵送先：

【納期：4/14(金) 消印有効】

〒101-0048

東京都千代田区神田司町 2-10 パークサイドセブン 2F

(公社)東京都山岳連盟 SC 局 国体選手強化委員会 宛

6. その他

強化事業遂行のため、強化選手もしくは保護者の方には、東京都山岳連盟 SC 局の事業（大会スタッフ、SC 局委員、国体・ジュニア選手強化予算管理など）への参加を必須とする。

以上